

5-2 生活道路網の整備

■ 現況と課題

地域内の生活道路は、国道、道道などの幹線道路と各地域を結んでおり、日常生活の利便性や防災などの安全性の向上に大きく貢献しているとともに、水道、電気を供給するルートとして、重要なネットワークを形成しています。

本町ではこれまで改良や舗装など整備の促進に努めてきましたが、狭隘な道路の改善、道路空間のバリアフリー化など、生活者の視点に立った利用環境の改善が求められています。【1～3】

また、都市計画道路である町道まきば通線は、平成17年度にまきばトンネルが完成し、常盤町～東町まで開通しましたが、未開通区間の緑町～常盤町間の着工の見通しが立たず、懸案である災害時の迂回路となる国道を補完する市街地内の道路網整備が進まない状況となっています。【4】

■ 今後の方向性

1 宅地化が進み交通量が増大している町道緑町1号線の改良を推進します。

【①】

2 生活の利便性や防災などの安全性の向上を図るため、舗装や排水整備を行うとともに、維持補修に努めます。【②～⑧】

3 障害者や高齢者が不安なく道路や歩道を通行することができるよう、道路空間のバリアフリー化を進めるなど、道路環境の改善を進めます。【⑨】

4 交通渋滞などの緩和が期待される町道まきば通線の全線開通に向けて、各関係機関への要望に努めます。【⑩】

■実施事業

- ①街路事業 緑町向別通（町道緑町1号線）（新規）
- ②町道局部改良事業
- ③町道舗装新設事業
- ④町道舗装補修事業
- ⑤排水整備事業
- ⑥町道橋梁耐久延命事業（新規）
- ⑦道路附帯施設補修（新規）
- ⑧浦河町街路灯維持補修（新規）
- ⑨町道歩道段差修正事業（新規）
- ⑩町道まきば通線（新規）